

# 分野別意見交換会報告書【総務常任委員会】

日 時： 令和2年(2020年) 2月 25日(火) 18時 00分～19時 35分

場 所： 箕面市役所 本館3階 委員会室

団 体 名： 箕面市観光協会

会長、副会長2名、

常任理事2名、理事1名、一般会員1名 計7名

出席議員： (委員長)神代繁近 (副委員長)名手宏樹

(委員)田中真由美、中井博幸、堀江 優、内海辰郷

傍聴者数： なし (※新型コロナウイルス感染対策のため非公開で開催)

テーマ：(1)観光バスの運行について

番号	項目	内容
1	観光バスの駐車スペース確保について	<ul style="list-style-type: none"><li>・紅葉シーズンは、現在の駐車可能台数では不十分。</li><li>・現在、大日駐車場に3台分しかないため、滝の上に新たな駐車スペースの確保を要望する。</li><li>・このままでは、箕面では観光バスを駐車できない等の風評で観光客が減ることを懸念している。</li><li>・滝の上で観光客を下ろし、バスは箕面駅付近で待っているというのが望ましいが、一方通行規制の期間は渋滞も激しく、勝尾寺から栗生を回って下りてくるのは時間的に難しい状況である。</li><li>・旧雨月食堂の前の道路を川沿いに付け替えるなどして、駐車場を拡充できないか。</li><li>・具体的にどのような状態にしてほしいと話を詰めていただけるとありがたい。</li></ul>
2	駐車予約システムについて	<ul style="list-style-type: none"><li>・予約キャンセル(30分以上遅れの自動キャンセルを含む。)が年間200件と非常に多い。</li><li>・予約制を知らずに来られる観光業者もあり、周知徹底が必要。</li></ul>
3	滝道バスの運行について	<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者や障害者だけでも利用できる(ゆずるバスのような)ピストンバスを運行してほしい。</li></ul>
4	トイレについて	<ul style="list-style-type: none"><li>・大日駐車場のトイレが汚いとのクレームが非常に多い。</li><li>・トイレが故障していても一向に直らない。清掃者から報告連絡相談体制はできているのか。</li><li>・滝前のトイレは水洗できれいだが、車に乗る前に行きたくないので、やはり駐車場にトイレを増やす必要がある。</li><li>・費用がかかっても、駐車場のトイレを水洗化するのが一番よい。</li></ul>

4 つづき		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状可能な最良の方法として、巡回・清掃回数を増やしてほしい。秋は週2回では少ない。</li> <li>・トイレトレーラーが導入されれば、紅葉シーズンに活用する方法はある。</li> </ul>
----------	--	--

### テーマ：(2) 観光案内所のあり方について

番号	項目	内容
1	案内所の場所について	現在の場所は、非常にわかりにくい。(滝道への動線と逆方向あり、外からも見えにくい。)看板設置等求む。
2	案内所の運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費を払うことも厳しい状況にある。</li> <li>・何か物販ができないか。</li> <li>・アンテナショップを担うことはできないか。</li> </ul>
3	案内所の足湯について	滝道にも無料の足湯ができたため、客足は減っている。案内所に足湯は必要なのか。
4	アンテナショップ箕瀧案内所の復活について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、NPO法人で運営されているが、情報発信、物販、イベント開催など滝道観光への貢献は計り知れない。店舗の閉鎖はもちろん、人材がなくなるのが本当に惜しい。</li> <li>・援助や寄附で、どこかで復活できないか。</li> <li>・滝道の活性化のために残してほしい。</li> <li>・案内所のところで復活するのは可能なのか、検討はしてみたい。</li> </ul>
5	後継者問題について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年したら店舗数が半分になると考えている。</li> <li>・高齢になり閉店した空き店舗を公的機関が仲介して貸し出しできるシステムをつくれないうか。住宅兼店舗のため、貸すことが不安だという人が多い。</li> </ul>
6	観光活性化について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滝道全体として、客層がどのように変わってきたのか、それに合わせた店が必要。</li> <li>・年間を通して観光ができない。四季を通じて宣伝が必要。</li> <li>・小野原のまちづくりのように、関係者が集まり、滝道全体としてどうしていくのかをつくり上げないといけない。</li> </ul>

### テーマ：(3) 新たな観光拠点について

番号	項目	内容
1	年間を通した観光について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滝以外の観光地も広報し、年間を通して観光客を誘致する手立てを検討してほしい。</li> <li>・川遊びができる所をつくってはどうか。</li> <li>・箕面公園は自然のままの公園で、小鳥の数、桜の種類も多く、サンショウウオも生息している。滝道はフィトンチッドであふれ、滝からはマイナスイオンが発生しており、非常に健康によい。そうした魅力を発信すればよい。</li> </ul>

2	着地型観光について	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ゆず狩り、農地利用などをしてはどうか。</li> <li>▪ 加古川山荘のようなところを外国人はとても喜ぶのではないか。瀧安寺に簡易宿泊所をつくってはどうか。せっかくある資源をもっと生かしたらよい。</li> <li>▪ 瀧安寺に申し入れたら、着地型観光について一部考えているとの答えをもらっている。</li> </ul>
3	他の団体との連携について	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 箕面在住の外国人に箕面の魅力を知ってもらい、国際交流協会と観光協会がタイアップして、観光ボランティアなどで魅力発信をしてもらってはどうか。</li> <li>▪ 農業公社での体験農業も検討していただきたい。</li> <li>▪ 観光協会だけではできないので、議会も含め、いろいろな団体が協力していかななくてはならない。</li> </ul>

以 上